

衆議院議員選挙東京都第27区 候補者比較表

Q1. 少子化の根本的な原因は何だと考えますか？

須山
たかし

将来への不安

ながつま
昭

結婚を望んでも結婚できないこと。不安定雇用や住宅費高騰を解決することが重要。

衆議院議員選挙東京都第27区 候補者比較表

Q1. 少子化の根本的な原因は何だと考えますか？

黒崎
ゆういち

少子化の根本原因は、「産みたいのに産めない」「育てたいのに将来が描けない」社会構造にあると思っています。まず大前提として、「産まない」という生き方や価値観は、当然尊重されるべきです。その上で問題なのは、産みたいと考えている人が、経済的不安や将来不安で踏み出せない現実です。特に現役世代は、手取りが増えない、住居費が高い、教育費が重い、そして社会保険料の負担が年々増えている。この状況で「子どもを持つ」と言われても、正直、現実的ではありません。だから私は、子育て支援“だけ”をやるのではなく、現役世代全体の生活を立て直すことが、少子化対策の本丸だと考えています。減税、社会保険料の見直し、そして責任ある積極財政で経済を成長させる。「この国で働き続ければ、将来が良くなる」そう実感できる社会をつくるのが、少子化への一番の近道です。

衆議院議員選挙東京都第27区 候補者比較表

Q2. ご自身の選挙区の地域課題は何で、国政にどう反映させますか？

須山
たかし

若者や単身世帯が多く住んでいる。
そうした人たちへの政策も広げていく必要がある。

ながつま
昭

教育格差の拡大、高齢者独居の問題。

衆議院議員選挙東京都第27区 候補者比較表

Q2. ご自身の選挙区の地域課題は何で、国政にどう反映させますか？

黒崎
ゆういち

中野・杉並で活動していて強く感じるのは、政治の停滞が、街の停滞に直結しているという現実です。
中野サンブラザ再開発は事実上、頓挫しています。

西武新宿線の開かずの踏切、南北交通の弱さ、狭あい道路、防災対策。

課題ははっきりしているのに、決断が先送りされ、動かない。

原因は明確で、国・都・区の連携が弱いことです。

私は商社時代、立場や利害の違う人たちをつなぎ、話をまとめ、結果を出す仕事をしてきました。

区議会議員としても、国・都・区・民間をつなぐ役割を担い、止まっていた案件を一つずつ動かしてきました。

国政では、予算・制度・権限を動かす立場に立ち、中野・杉並の課題を“机上の議論”で終わらせず、
一気に前へ進めます。

衆議院議員選挙東京都第27区 候補者比較表

Q3. 1,000億円を自由に使えるとしたら何に使いますか？

須山
たかし

将来を担う子どもたちへの教育の充実

ながつま
昭

塾に行けない子どもたちの学びの場をつくる。

衆議院議員選挙東京都第27区 候補者比較表

Q3. 1,000億円を自由に使えるとしたら何に使いますか？

黒崎
ゆういち

私が1000億円を自由に使えるなら、
日本のエンジンである東京を、中野・杉並からつくり直すことに使います。
今、中野・杉並は人気の街でとても魅力がある街ですが、家賃や住宅価格の高騰で、若い世代が住み続けられない街になりつつあります。
これは個人の問題ではなく、東京、ひいては日本全体の成長に直結する問題です。
だから私は、再開発や建て替えを進め、住宅の供給を増やすことに重点投資します。
あわせて、交通、医療、教育、子育て、防災といった生活インフラを一体で整える。
目指すのは、「若者が集まる街」ではなく、若者が根を張り、住み続けられる街です。
中野・杉並から人と経済が回り出せば、東京は再び、日本全体を引っ張るエンジンになる。
私はその起点を、この中野・杉並からつくっていきたい。そう考えています。